漏水調査仕様書

株式会社サニコン

◎使用機材

電子式音聴棒

漏水探知器

相関式漏水探知器

音波式管路探知器

◎漏水調査方法

給排水設備外観目視調査

受水槽、給水ポンプ、給水管、給水器具等の給水設備の目視できる部分の調査を行います。また排水マス、会所等の排水設備に漏水した水が流出していないか等を調査します。

栓弁類音聴調査

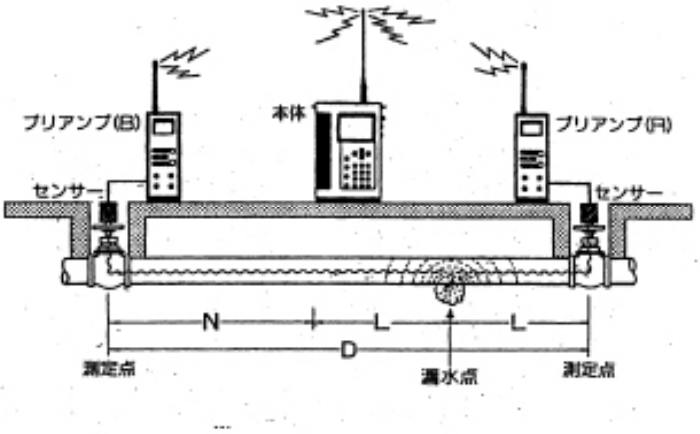
仕切弁、バルブ、消火栓、散水栓等に音聴棒をあて音聴することにより、埋設部分の漏水異常音の有無を確認する。

埋設管路音聴調査

埋設管路音聴調査は、漏水探知器を使用して管路に沿って路面上を調査する。

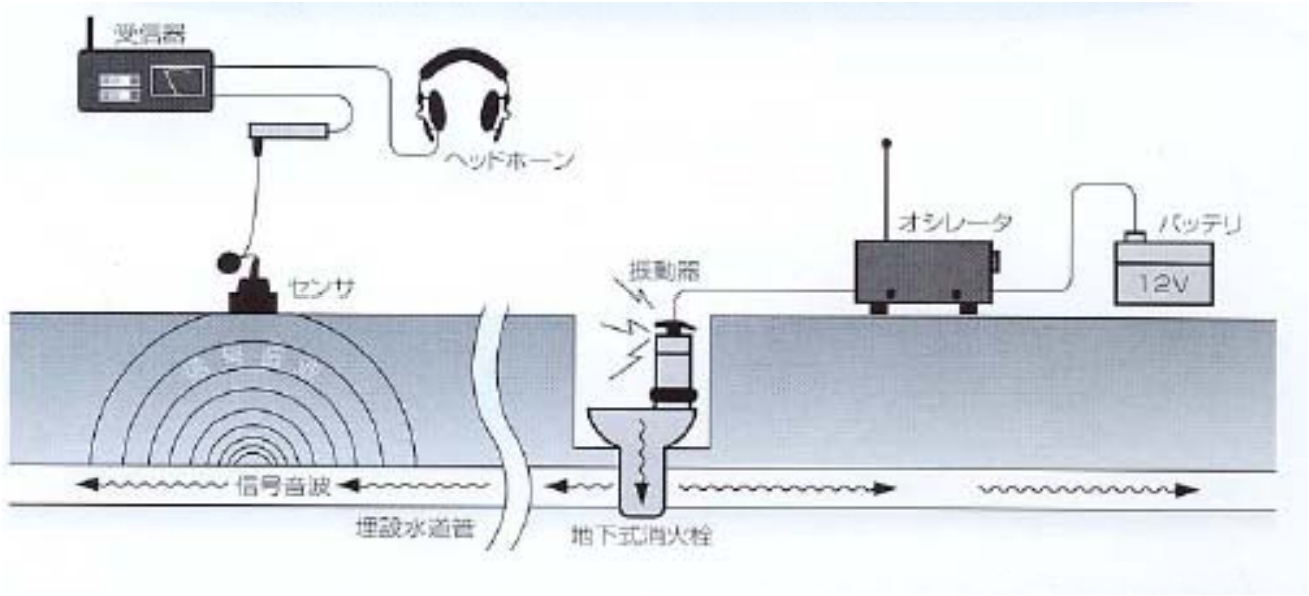
相関式漏水探知器

この装置は管路を伝播してくる漏水音を、漏水を挟む2個のセンサーで捕らえ、漏水点から各センサーまで伝播する漏水音の時間差から漏水点を算出します。



音波式管路探知調査

埋設配管の実際の位置は施工図面等と異なっている場合があり、漏水地点の距離が判明しても掘削すると配管が別の位置に埋設されていたということがあります。この音波式管路探知器は「水が音波を効率良く伝える」原理を利用して水道管に付属する消火栓や量水器から水道管内に信号音波を流し、伝播する信号音波を地表で探知するシステムです。



◎漏水調査手順

① 各水栓等露出している器具を目視にて漏水が無いか調査する。

② 管路周辺の雑排水・雨水会所等に不明水の流入が無いか調査する。

③ 各水栓器具等で、音聴棒により栓弁類音聴調査を行う。

④ 管路上の路面音聴調査を行う。

⑤ ③及び④で漏水音が検出されれば、その地点をはさむ各水栓2点間で相関式漏水探知を行い、漏水点を確定する。

⑥ 管路の経路が不明な場合や、配管図面と異なっている場合は管路探知調査を実施する。

※ 漏水調査の実施に当たって詳細な配管図面が必要です。
※ 配管にポンプや周辺機器の振動・騒音等が伝わっている場合、その他周辺状況により調査が困難な場合があります。